



特集2

いいたてっ子が行く！ 沖縄までいの旅



いちやしばちよーでー
「一度会ったら皆兄弟」を意味する沖縄ことば



仲間と共に命の豊かさを学ぶ旅
沖縄で、戦争遺構や平和祈念施設を訪れ、小学6年生が命と平和の尊さを学ぶ「沖縄までいの旅」。9回目となる今回は、7月21日から24日まで、3泊4日の日程で、小学6年生27人が参加。仲間と力を合わせて、沖縄でその学びと出会いを体験しました。
また、琉球文化をはじめとする沖縄の文化や芸能、南国の気候、海洋の恵み豊かな大自然に触れることができるのも、この旅の魅力。訪問先の読谷村では、スポーツやバーベキューを共に楽しみ、現地の子ども達とも交流しました。交流では、同世代ならではの親しみが、沖縄をさらに身近に感じさせてくれたようです。
親元を離れて、大きな挑戦を成し遂げた子ども達。目を輝かせて、福島へと戻ってきました。



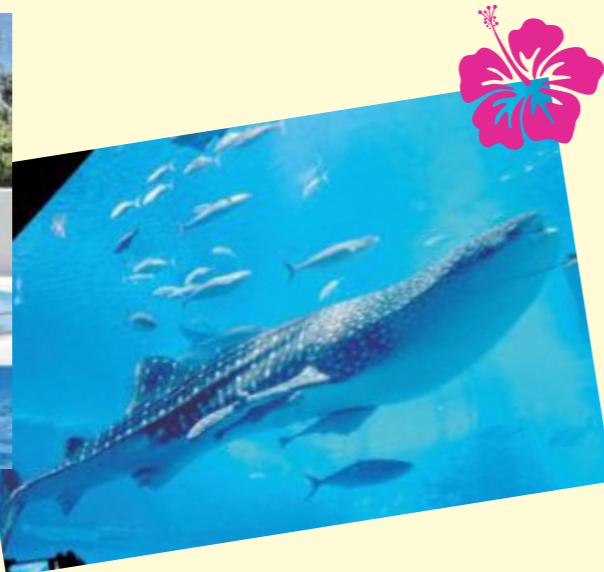
平和祈念公園・資料館を訪れました。沖縄戦の悲話に聞き入り、資料に目をこらしました



台風一過の沖縄に無事到着。朱塗りの漆が美しい首里城を訪れ、資料館で沖縄の歴史を学びました



読谷村の小学生と交流しました。村の紹介をしたり、一緒にタグラグビーを楽しんだり、バーベキューを囲んだり。出会いは旅の宝物ですね。笑顔を見合わせて楽しそうに交流していました



美ら海（ちゅらうみ）水族館では、日本一の大水槽をゆうゆうと泳ぐジンパイヤメにうつとり。大迫力のイルカショーでは歓声が上がりました



国籍や、軍人・民間人の区別なく、沖縄戦で命を落とした全ての人の名を記している「平和の礎（いしじ）」。碑が並ぶ中を、平和の尊さを胸に刻みながら、子ども達が歩きました

番外編 仙台までいの旅

7/21



台風の通過待ちで飛行機が飛ばず、初日は仙台で過ごしました。遊園地での班行動で、旅の仲間と距離を縮めた団員たちです